

東京科学大学病院膠原病・リウマチ内科学では 臍帯由来間葉系幹細胞を用いた 自己免疫疾患の新規治療法開発を行っています

研究課題「間葉系幹細胞を用いた自己免疫疾患の治療法開発」は、臍帯由来間葉系幹細胞を用いて、多発性筋炎・皮膚筋炎（polymyositis/dermatomyositis, PM/DM）、マクロファージ活性化症候群などの難治性自己免疫疾患の新しい治療法開発に取り組んでいます。

この研究は、本学医学系倫理審査委員会の承認と、研究機関の長の実施許可を受けて実施するものです。

【研究課題】

「間葉系幹細胞を用いた自己免疫疾患の治療法開発」
（医学系倫理審査委員会 承認番号 M2022-327）

【研究機関名及び自機関の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京科学大学医学部 膠原病・リウマチ内科
研究代表者 教授 保田 晋助

共同研究機関 ヒューマンライフコード株式会社
研究責任者 研究開発グループ長・執行役員 山田 眞路

【研究方法】

東大医科研臍帯血・臍帯バンク（責任者：長村 登紀子）ならびにヒューマンライフコード株式会社（責任者：山田 眞路）から、臍帯の提供を受けて行います。臍帯間葉系幹細胞を分離し、多発性筋炎・皮膚筋炎やマクロファージ活性化症候群の病態を再現した実験動物や、炎症を再現した培養細胞に投与します。安全性や、病気に有効である可能性について評価し、検討を行います。この研究では、臍帯血由来細胞を患者さんに投与することはありません。

【研究期間】

承認日～2028年3月31日

記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【費用について】

本研究は、ヒューマンライフコード株式会社から提供を受ける共同研究費を用いて行われます。研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会において審議され、適切であると判断されております。

この研究について、ご不明な点や、何かご心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。また、臍帯を提供したことがある方で、この研究に試料を使用してほしくない場合にも、下記の連絡先へ御連絡下さい。

【連絡先】

研究代表者連絡先：東京科学大学医学部 膠原病・リウマチ内科
教授 保田 晋助

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-4773（ダイヤルイン）（平日 9：00～17：00）

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）